

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	平成30年度	施設番号	41 — 0015
-----	---------	-----------------	--------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成31年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あつた場合の実施状況 (令和2年4月30日時点)
事業継続計画の策定と想定訓練と検証について	災害発生時の対応方法や訓練等を実施しているが、事業継続計画（BCP）の策定は急務であると認識しており、施設の特性に応じた計画の策定に取り組む。	平成31年度の当法人事業計画書において、本年度の主な施策に「事業継続計画（BCP）」の検討・作成を盛り込み、理事会において承認されている。このことから、31年度の重要課題として取り組みに着手し、課題の分析を行う。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年中) 具体的には以下のとおりです。 課題の把握、分析を行い、検討過程において職員の意見等を踏まえたうえで検討を進める。	1 実施済み (令和年月) 具体的には以下のとおりです。 実際に体験し、使用頻度の高さが予想される台風時のBCP策定に着手しているが、まだ完成には至っていない。
研修成果の活用について	毎月行われている勉強会に加え、外部研修に参加した職員が勉強会で講師となり、研修の成果を発表すると共に、研修の成果を日常支援の中でどのように取り入れるかを皆で話し合う。その後は研修に参加した職員、主任が中心となり、状況を会議の場で発表し、研修の成果を職員間で共有していく。	外部研修に参加した職員が勉強会で講師となり、研修の成果を発表すると共に、研修の成果を日常支援の中でどのように取り入れるかを皆で話し合う。その後は研修に参加した職員、主任が中心となり、状況を会議の場で発表し、研修の成果を職員間で共有していく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和元年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 勉強会での発表や、日常支援への取り入れをどのように行うか今後検討する。	1 実施済み (令和元年8月) 具体的には以下のとおりです。 外部研修参加の支援員2名が勉強会で講師をし、研修成果取り入れは主任を中心利用者を具体的にあげ取り組んだ。
職員応募について	求人広告、就職フォーラム等への参加、学校への求人票送付等行なってきたが、思うような成果が得られていない。将来の人手不足を見据えて「来て欲しい職員」の掲載等、具体的な募集の再検討が必要。	効果のある求人方法とされている、ハローワークの活用を中心とした求人活動を行う。また、求人票に記載する職場の魅力、求める人物像等、求職者の目に止まるものになるよう工夫する。また、並行して職員による紹介制度の導入の検討を進めている。	1 実施済み 2 実施予定 (令和元年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 4月よりハローワーク等の求人票について工夫を行った。職員による紹介制度について今後検討を行う。	1 実施済み (令和元年10月) 具体的には以下のとおりです。 職員採用実績としてハローワーク7名、職員紹介3名が採用に繋がった。職員紹介制度については制度を設け4名利用した。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。